

# 第 21 回 学会報告記 (AHA 2016)

2016 年度アメリカ心臓病協会(AHA)学術集会が 2016 年 11 月 12 日から 11 月 16 日までアメリカ合衆国ルイジアナ州ニューオリンズで開催されました。

AHAはヨーロッパ心臓病学会(ESC)やアメリカ心臓病学会(ACC)と並び、循環器の大規模な国際学会であり、循環器領域の数多くのガイドラインを提唱し、世界へと発信しております。

## 1 学会会場

---

飛行機で成田国際空港からヒューストン国際空港経由でニューオリンズ国際空港まで合計15時間かけての長旅でした。学会はさらにそこから車で30分移動したところにあるMorial Convention Centerで行われました。

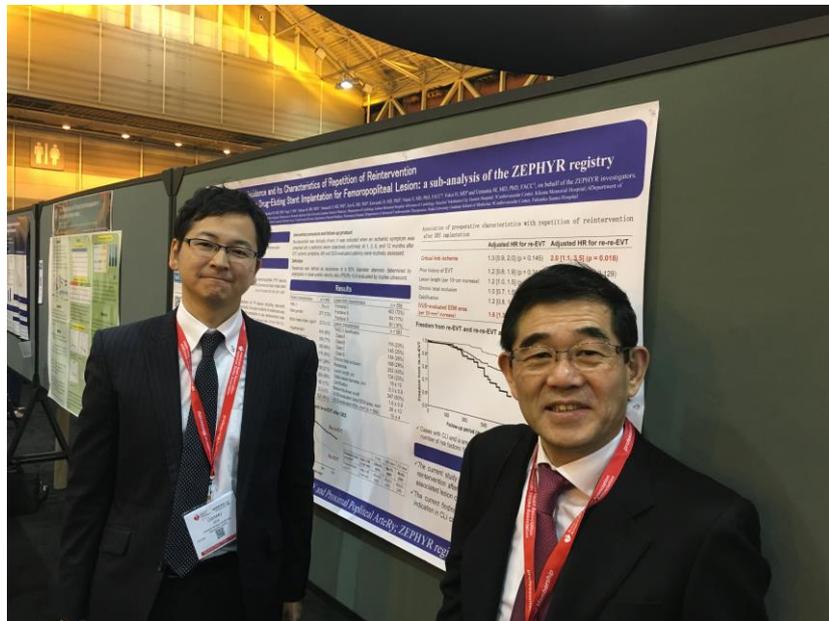


学会会場にて

## 2 発表

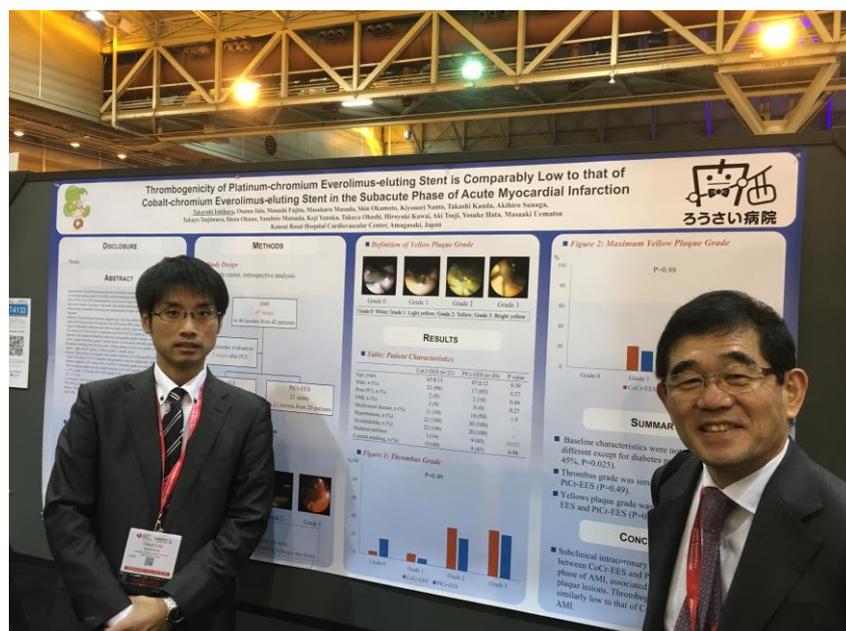
飯田 修 副部長

### 【Incidence and its Characteristics of Repetition of Reintervention After Drug-Eluting Stent implantation for Femoropopliteal Lesion】



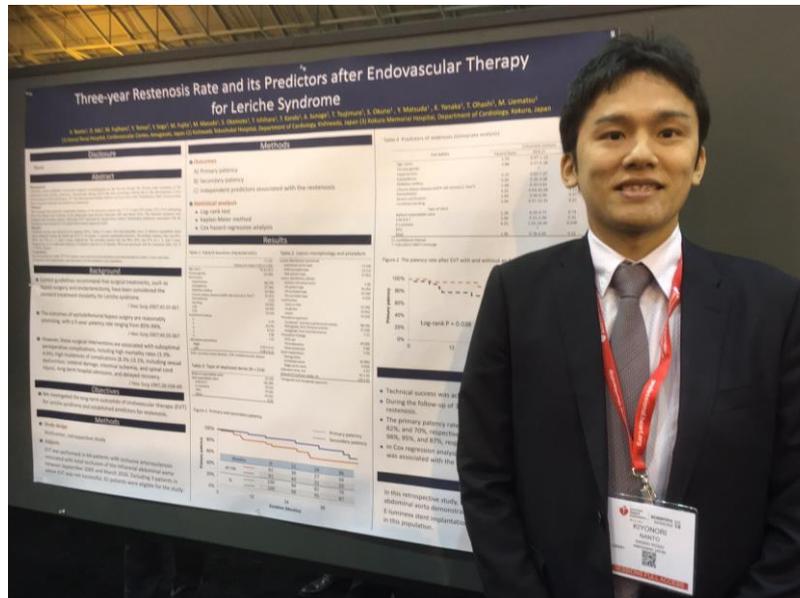
石原 隆行 医師

### 【Thrombogenicity of Platinum-chromium Everolimus-eluting Stent is Comparably Low to that of Cobalt-chromium Everolimus-eluting Stent in the Subacute Phase of Acute Myocardial Infarction】



南都 清範 医師

**【Three-year Restenosis Rate and Its Predictors After Endovascular Therapy for Leriche Syndrome】**

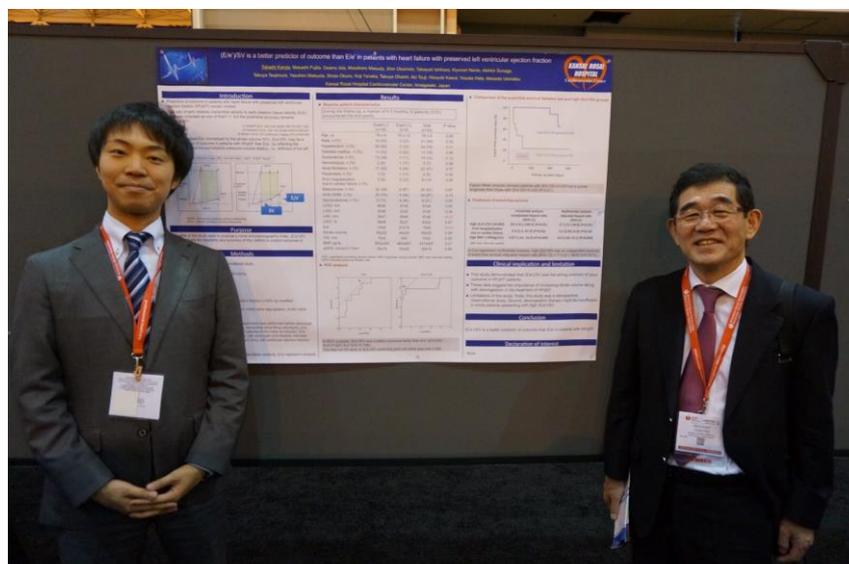


神田 貴史 医師

**【Response to Isoproterenol Infusion may Predict Procedural Success Following Ablation for Atrial Fibrillation】**

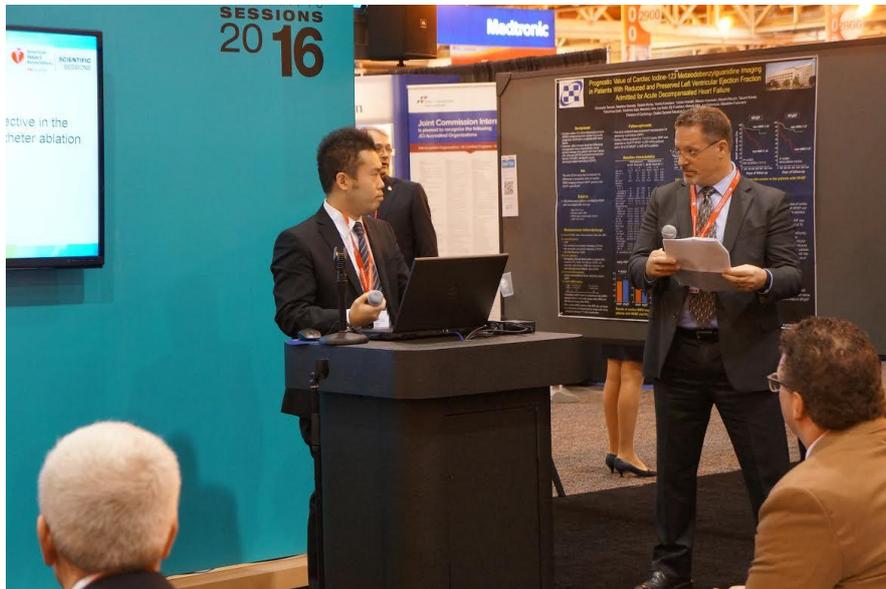
**【E/e'·SV is a Better Predictor of Outcome Than E/e' in Patients with Heart Failure with Preserved Left Ventricular Ejection Fraction】**

**【Time Course of Reverse Remodeling Following Catheter Ablation of Persistent Atrial Fibrillation】**



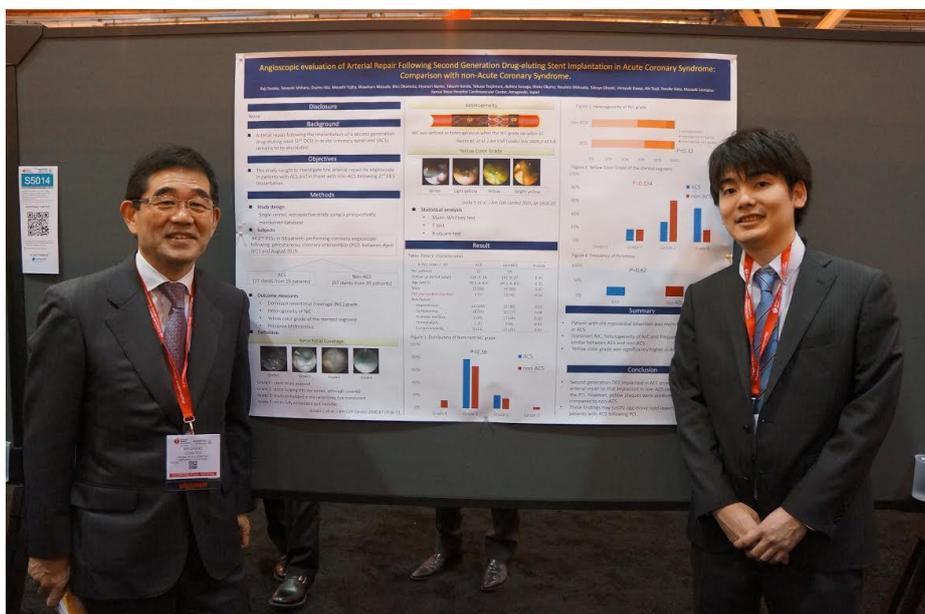
松田 祥宏 医師

**【Kaolin-containing Hemostatic Gauze Reduced The Re-bleeding Rate Following Catheter Ablation For Atrial Fibrillation】**  
**【Severity of Chronic Kidney Disease Correlates With the Prevalence of Left Atrial Low-voltage Areas】**



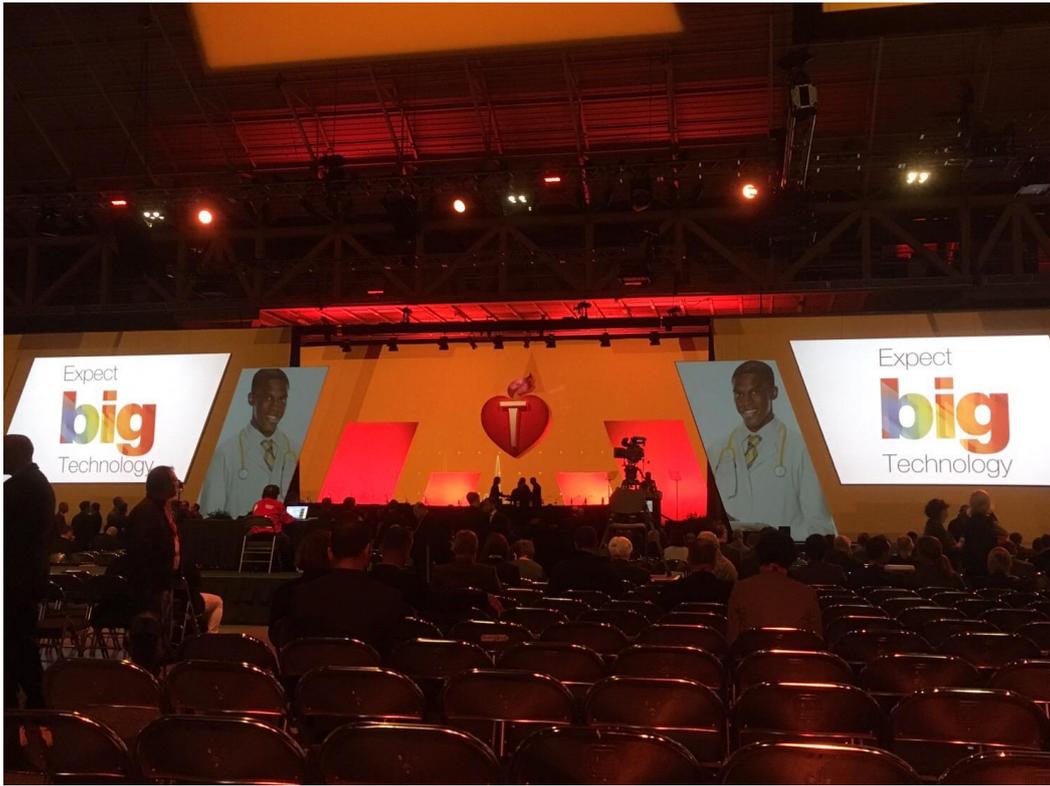
谷仲 厚治 医師

**【Angioscopic Evaluation of Arterial Repair Following Second Generation Drug-eluting Stent Implantation in Acute Coronary Syndrome: Comparison With Non-Acute Coronary Syndrome】**



関西労災病院からはポスターセッションに 8 演題、オーラルセッションに 1 演題を発表致しました。カテーテルの領域では症候性の下肢動脈疾患におけるチカグレロルの有効性を示した EUCLID 試験や冠動脈疾患における新規の抗コレステロール薬（PCSK9 阻害薬）の有効性を示した GLAGOV 試験、多枝冠動脈疾患患者における FFR ガイド PCI の臨床成績を報告した Future 試験などの大規模試験やイメージングに関する発表が多くみられ新たな知見を得ることができました。

いずれの会場も議論が白熱しており、非常に熱気のある学会でした。



メインアリーナ

### 3 まとめ

---

私自身 AHA は初めての参加であり、とても刺激的な日々を過ごすことができました。  
今回の学会参加を通して得たものを糧に、今後の日常診療に励んでいきたいと思います。  
今後も、さまざまな学会に積極的に参加し、当院での日々の臨床を検証しつつ、よりよい診療を目指して行きたいと考えております。

以上、第 21 回学会報告記でした。